

キャリア教育だより

研修部 キャリア形成連携 2023/01

新年、おめでとうございます。今年も「キャリア教育」について、みなさんとお話ししていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

キャリアにはこんなものもある…「余暇を楽しむ人」「地域の子ども（住民）」

前は、家族の一員としてのキャリアについてお話ししました。このほかにも「余暇を楽しむ人」「地域の子ども」というキャリアもあります（2022/07 号を参考にしてください）。今回はこの2つのキャリアについてお話ししたいと思います。

「余暇を楽しむ人」というキャリア、「地域の子ども（住民）」というキャリア

このキャリアは、子ども時代のキャリア経験を充実し、将来を豊かにするための重要な意味もっています。子どもは「遊ぶことが仕事」です。「遊ぶ」ことは生活の中心です。子どもの遊びには「学び」がたくさんあります。また、就労した青年たちを見ていると、上手に余暇を活用している人たちは仕事が続ぎ、余暇をうまく使えていない人は離職する人が多いように思います。単純化して話すと「仕事と余暇のメリハリバランス」が大切だと思うのです。

この余暇の問題ですが、子どものころにどのように「余暇」を過ごしてきたかということが重要なようです。今、世の中ではスマホやタブレット PC が手軽に使えるようになり、ササッと操作して動画コンテンツなどを気軽に楽しめる時代です。「余暇を楽しむ人」というキャリアの観点からは、「スマホ以外に楽しみを知らない、余暇の過ごし方のヴァリエーションに乏しい人」に育ってしまう問題が潜んでいます。その子に楽しめることがいろいろあるということは、

「Aができないのなら、B や C をして余暇を過ごそう」というように、余暇の時間を充実して過ごすことにつながる可能性があります。もちろん、一つの楽しみにとことん打ち込むことは素晴らしいことです。打ち込めるものと出会うためには、いろいろな出会いを経験することが必要だと思うのです。そのように考えると、子どもの頃にはいろいろな楽しめそうなことと出会い、自分の余暇を豊かに過ごせるものと巡り合うことが大切だと思います。そして、将来の余暇だけではなく、今の余暇も充実した時間を過ごすことがキャリア発達に大切なのです。



また、可能であれば「地域の子ども」として、地域の活動に参加するという余暇の過ごし方も選択肢の一つに入れてほしいと思います。最近は、少子化に加え COVID-19 の感染状況から「子ども会」などの活動もなくなっているようです。しかし、チャンスがあれば「子ども会」に限らず、地域の活動に参加することで「地域の子ども」というキャリアも併せて充実してほしいと願います。

（文責：研修部 小川征利）

※ 文中で使用しているイラストは「かわいいイラスト素材いらすとや」のものです